

# 強制的に離別させられた難民の親子を再会させて！



私は、アメリカ政府に対して、ヴァルギリアさんを仮釈放することと、彼女と彼女の息子が離別させられたトラウマから克服できるよう支援することを要請します。



©Sergio Ortiz

ヴァルギリアさんは、身の危険から母国のブラジルを立ち去りました。麻薬を密売する売人を批判したことで、殺害の脅迫を受けたためです。ブラジルのどこに逃げても、息子ともども「容赦なく殺す」と言われたのです。ヴァルギリアさんは当時 7 歳だった息子と一緒に米国に避難することを決めました。しかし、アメリカの国境にたどり着いたとき、アメリカ政府はヴァルギリアさんを収容し、息子とは強制的に離散させられてしまいました。

息子は現在、先にアメリカにたどり着き、難民申請中の父親と一緒にいます。寂しくて、母親が来ることを毎日にドアのそばで待っています。ヴァルギリアさんが息子と離ればなれにさせられた理由について、アメリカ政府からの説明はありません。11 か月経った今でも、ヴァルギリアさんの収容は続いています。

※集まった署名は、アムネスティ日本でとりまとめ、要請先に提出します。Email アドレス・電話番号は提出しません。

※後日、メール、お電話にてアムネスティ日本から活動紹介のご連絡を差し上げる場合がございます。

	氏名	フリガナ	Email アドレス アムネスティ日本からメールマガジンをお送りします	電話番号	年代	会員/ HRS
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						